2.1 脱炭素社会の構築に向けたESGリース促進事業

①冷媒用コンデンシングユニットの更新による脱炭素化推進と業務効率化・品質維持の両立

株式会社なかやま牧場（広島県福山市／商業小売業）

【HP】https://www.nakayama-farm.jp/　【備考】代表申請者　ひろぎんリース株式会社（広島県広島市／リース会社）

赤文字：該当箇所 ｜ 灰色文字：該当外

補助事業の紹介

補助事業名	脱炭素社会の構築に向けたESGリース促進事業
補助事業の概要	中小企業等がリースで脱炭素機器を導入する際、指定リース事業者※によるESG要素を考慮した取組やサプライチェーン上の脱炭素化に資する取組が基準を満たしている場合、脱炭素機器の種類に応じて総リース料の1～6%を指定リース事業者に対して助成を行い、補助率に応じた総リース料の減免を行う。 ※ 指定リース事業者とはリース先の選定に対してESGの要素を考慮する体制を整えているなどの一定要件を満たし、本事業において補助事業者から補助金を受ける事が出来るリース事業者のこと。
実施目的	本事業では、バリューチェーン全体での脱炭素化に貢献する中小企業等における設備投資への支援や、リース会社によるESG要素を考慮した取組の促進を通じて、バリューチェーン全体での企業における脱炭素化の取組推進を目指すものである。
交付対象	民間事業者・団体（指定リース事業者）
補助率	① 国から民間団体への補助：定額 ② 民間団体から指定リース事業者への補助：1～6% 補助上限： 1リース契約の補助金の対象となる脱炭素機器部分のリース料の総額が、65万円以上、2億円以内

①冷媒用コンデンシングユニットの更新による脱炭素化推進と業務効率化・品質維持の両立

事業の概要

補助金額	補助金額	約35万円
	補助率	6%
導入設備	従前設備	冷媒用コンデンシングユニット
	導入設備	冷媒用コンデンシングユニット（設備更新）
事業期間	稼働日	2024年10月
備考	導入台数	4台



冷媒用コンデンシングユニット

事業の効果

エネルギーコスト
▲約60（万円／年）

投資回収年数
10（年）→ 9（年）

CO_2削減効果
約12（t-CO_2／年）

CO_2削減コスト
約0.3（万円／t-CO_2）

副次的効果

- **冷凍・冷蔵効果が向上したことにより、商品の品質が保たれお客様の安心感がより高まった。**
- **また、ショーケース内の温度が安定し、品だしの頻度が少なくなり、従業員の作業負荷が軽減された。**

※ エネルギーコストは、電力単価：22.7円／kWh（出典：電気事業連合会HP）を用いて試算したものである。

事業者の声



山田 浩彰｜株式会社なかやま牧場　管理本部人事総務部　総務課課長

本事業を活用することで、資金繰りに悩むことなく老朽化した設備の更新を円滑に行うことができました。
大幅な電気料金の削減を実現できたことはもちろん、最新機種による高精度な温度管理が可能になったことで、商品の鮮度・品質維持が向上しました。これにより、品質劣化に伴うフードロス削減という環境面・社会面での成果にもつながっています。